



決算委員会が始まりました

10月10日会派代表者会議に出席された大森雅夫市長は「どうぞよろしくお願ひします」ととても短いあいさつをされました。10月9日の市長記者会見が岡山市ホームページでご覧になれます。

基金（貯金）が増加

決算とは、一会計年度の歳入・歳出予算の執行の結果、実績のことです。

岡山市は、政令市になってから宝くじの収入に加え、交付税の算入も多くあり、実質収支は22年度約107億円、23年度約115億円、24年度は約60億円の黒字となっています。この3年間貯金にあたる基金残高は、22年115億円、23年196億円、24年274億円と増加しています。これは行財政改革の結果であり、貯金することが目的ではなく、25年度以降には市民福祉の向上のために使っていくとのことでした。

道路占用料などの

不能欠損額(未収金)636,348円

市道上に広告看板を置いたり、橋を架けたりするときに道路占用料が発生します。その料金が滞納となり、不能欠損として帳簿上から落とされています。

この第1の原因は、許可してから使用料を払う仕組みになっていることにあります。そもそもの仕組みを変え、許可と使用料の徴収を同時に行えば滞納は生じないのです。その仕組みの変更を強く要望しました。

妊婦健康診査臨時特例交付金

142,774,000円

これは妊婦さんの健康診査に対して払われる交付金です。

医療機関と助産院では岡山市が払う補助金額に違

いがあり助産院での健診では、妊婦さんに追加負担が生じています。妊婦さんがどこで生むかは決めることであり、妊婦健診がどこでも無料になるように是正するべきではないかと質問しました。是正の方向で検討しているということでした。

米国では「生ごみ＝資源」の動き

2013年10月13日日経新聞に、米国の自治体が、空き缶やプラスチックといった資源ごみに加え、新たに生ごみの分別回収に本腰を入れ始め、肥料などとして有効活用すればごみの大幅な削減が可能になると期待を集めていると掲載されていました。

オレゴン州ポートランド市内では、「堆肥用」と書かれた収集容器に、木の枝、葉っぱ、バナナの皮、卵、ニンジンの皮などを入れ、ゴミ収集車が週1回収する一方、一般ごみの収集は各週1回で、開始から1年で埋め立てに回る家庭ごみが4割減った。集めた生ごみは堆肥に加工し、造園業者や農家に販売する。

リサイクルへの取り組み不足が批判されてきた全米最大都市ニューヨークでは、「リサイクル・エブリシング（全てをリサイクルしよう）」と大規模な予算を投じた。同市はリサイクル率15%から2030年に70%への引き上げを目指している。生ごみ埋め立てに年間8500万ドル（約82億円）の費用がかかっており、分別回収で大幅なコスト削減も見込める。

こうした世界の動きも視野に入れ、岡山市もごみのリサイクルを考えていくべきでしょう。

下市このみ事務所からのお知らせ

- ▼11月3日（日・祝）第29回ひまわりマーケット
10:00～ 高屋公園
- ▼11月19日(火) まちづくり～おしゃべりネット♪
10:00～12:00 下市このみ事務所
- ▼11月24日（日）
下市このみ後援会 第6回親睦旅行
しまね海洋博物館アクアス 白いるかに会いに行こう！
出発7:40 解散19:30
大人6000円 中学生5,500円 小学生4,000円
※お申し込み問合せは下市このみ事務所まで